

アール・ブリュット
インフォメーション &
サポートセンター

<http://info.art-brut.jp>

経緯／趣旨

Details

およそ70年前、戦後間もない頃から滋賀県の障害福祉施設では、職業訓練のほか造形活動や舞台表現にも取り組まれてきました。このような福祉施設の取り組みを礎に2002年からは、障害のある人とプロのアーティストがコラボレーションし、舞台表現の魅力を発信する「糸賀一雄記念賞音楽祭」を開催しています。また2004年に開設したボードレス・アートミュージアムNO-MAでは、障害のある人たちによる造形表現や現代アートなど、様々な表現を分け隔てなく紹介することで、人の表現が持つ根源的な魅力を感じてもらい取り組みをしてきました。近年ではヨーロッパやアジアの国々の美術館、文化施設と連携した展覧会や公演を実施するなど、海外との交流事業にも積極的に取り組んでいます。これらの70年を超える取り組みを経て、障害のある人が制作する作品の中には「アール・ブリュット（仏語で生の芸術という意）」として評価され、発表される作品も出てきています。

世間からの関心が高まるとともに、障害のある人やその家族の「絵を描きたい、ものをつくりたい」「歌いたい、踊りたい」「作品

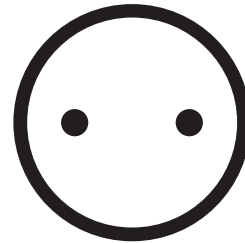
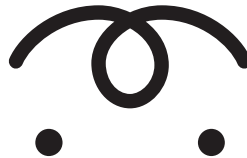
を発表してみたい」などの機運が高まり、さらには美術館や文化施設等による展示や公演の依頼、マスコミからの取材依頼等、障害のある作者や演者に注目する動きも増えています。しかしながら、これらの問合せにどのように対応してよいか分からず、活動や発表、取材を断念せざるを得ない場合があったり、作者や演者の権利が十分に理解されないまま対応されていることが課題となっています。

これらの状況を踏まえ、障害のある人やその家族、福祉施設からの相談、美術館や文化施設等からの問合せに対し、必要な情報を提供する等の支援を行うため、2012年にアイサが誕生しました。現在は厚生労働省で「障害者芸術文化活動普及支援事業」として全国で同様の支援センターが開設されています。アイサでは、障害のある人の権利が保護されるための助言や、作品に関わる（関わろうとする）人と人とが信頼関係を持ってつなげるための支援を行うことで、障害のある人が安心と希望を持って美術・舞台表現活動に取り組める環境づくりを進めています。

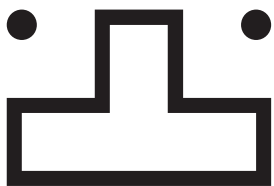
使命

Our goal

アイサは障害のある人の
美術や舞台表現をめぐる
「つくる」「つながる」「まもる」を
サポートします。



CREATE SUPPORT



つくる

作品や展覧会をつくる、舞台表現の場や公演をつくるなど、「つくる」に関する相談に応じ、必要な情報を提供します。

EX. 相談例

- 近所で創作できる場所、歌やダンスができる場所を教えてください
- アートやパフォーマンスの指導をしてくれる人を見つけたい
- これから創作やパフォーマンス等の活動をしようと思うので、相談に乗ってほしい
- 展覧会や公演を開催するためにどのような準備をすればいいか教えてください
- 障害のある人が劇場や美術館を利用しやすくするためのアドバイスがほしい
- 作品の画像を使ってグッズをつくりたいので、方法や手順を教えてください



CONNECT SUPPORT



つなぐ

作品を発表したい、作品がつけられる現場を見たいなど、作者や出演者と社会を「つなぐ」ためのサポートをします。

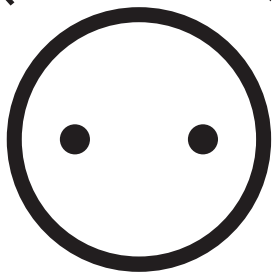
EX. 相談例

- 絵や陶芸を展示できる場所、パフォーマンスを発表できる場所を知りたい
- 公募展の情報を教えてください
- 美術や舞台表現の活動に取り組む施設を見学したいので、取り次いでほしい
- アール・ブリュット作品を鑑賞できる場所(または展覧会)を紹介してほしい
- 書籍の表紙に〇〇さんの写真(作品または本人)を掲載するので、連絡を取りたい
- 〇〇さん取材したいので、繋いでほしい
- 障害のある人の文化芸術に関する情報を教えてください



制作風景

PROTECT SUPPORT



まもる

安心して美術や舞台表現の活動ができるよう 障害のある人の権利を「まもる」ための 情報提供をします。

EX. 相談例

- 利用者の作品を展示や上演する際に、施設として配慮すべきことを教えてほしい
- 作品の出版を依頼したい(された)が、どのような手続きを踏めばいいか教えてほしい
- 作品の保存方法についてアドバイスがほしい
- 作品をグッズにしたり、パフォーマンス公演の映像を記録・上映するときに、どのような契約を結べばいいか参考例を教えてほしい
- 判断能力が充分でない作者や出演者に、出版や出演の依頼する手続きを教えてほしい



制作風景



ごめんなさい

Sorry!!

- 作品の価格評価については、市場で評価されるものなのでお答えできません。
- 作者や演者の連絡先が分からない場合はお繋ぎできません。
- 作者や演者個別のマネジメントはできません。
- 法律相談についてアイサから直接お答えすることはできません。

外部アドバイザー

Adviser

アイサでは、より専門的な見地からの情報提供、支援を可能にするため、各分野の専門家に外部アドバイザーとして協力を依頼しています。

- 弁護士
- 美術館学芸員
- アーティスト(美術家、音楽家、ダンサーなど)

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

社会福祉法人グローが運営するミュージアム。2004年に町屋を改修して開館し、障害のある人の作品やアール・ブリュット、現代アートなど多くの展覧会を開催。

社会福祉法人グロー(GLOW)

2014年4月、滋賀県社会福祉事業団とオープンスペースレガートが1つになり誕生した。法人本部企画事業部文化芸術推進課では障害のある人の文化芸術に関する事業に取り組む。

滋賀県近江八幡市
永原町上16
TEL/FAX 0748-36-5018
E-mail no-ma@lake.ocn.ne.jp
<http://www.no-ma.jp>

滋賀県近江八幡市
安土町下豊浦4837-2
TEL 0748-46-8100
FAX 0748-46-8228
<http://glow.or.jp/>

Other アイサでは相談支援の他にも 次のような事業を行っています。



研修会の開催

障害のある人の美術や舞台表現を支援する人たちや、それらの活動に関心のある人たちを対象にした研修会を開催しています。支援方法に関する研修、展示や公演の技術研修、権利保護や鑑賞支援に関する研修などを行っています。



ネットワークづくり

障害のある作者や演者、その家族、福祉関係者、美術や舞台関係者、地域の方など分野や領域を超えたネットワークをつくることを目的に、交流の場となるようなイベントを開催しています。

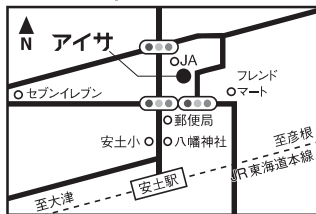


滋賀県施設・学校合同企画展の開催

県内の障害福祉施設、特別支援学校に呼びかけて、ボーダレス・アートミュージアムNO-MAと合同で展覧会を開催します。毎年約30か所の施設・学校が集まり、一年を通して展示構成の話し合いを行い、秋から冬にかけてNO-MAで展覧会を開催しています。

研修会や展覧会等の詳細は
随時ウェブサイトにはアップしています。

Access Map



アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター (略称:アイサ)

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837番地2

社会福祉法人グロー法人本部企画事業部内

TEL 0748-46-8118 FAX 0748-46-8228

E-mail artbrut_info@glow.or.jp

URL info.art-brut.jp

助成:滋賀県、障害者芸術文化活動支援センター運営費補助金



厚生労働省 障害者芸術文化活動 普及支援事業

平成26～28年度に実施した障害者の芸術活動支援モデル事業で培った支援ノウハウを全国展開することにより、障害者の芸術文化活動の更なる振興を図ることを目的としています。平成29年度以降は、美術活動(絵画や陶芸等の創作活動)のみならず、演劇や音楽等の舞台作品に対する支援体制の充実に図られています。
renkei-sgsm.net/